

最新の施工技術を駆使した工事現場で研修会を開催

～情報化施工研修会を青森・宮城・秋田で開催～

東北地方整備局では、ICT（情報通信技術）を工事施工に活用し、従来の技術よりも高い生産性、熟練度に左右されない均質で高品質な施工を実現する「情報化施工」の普及推進に向けて試験施工を実施しています。

この度、東北建設業協会連合会（共催 東北土木施工管理技士会連合会）及び（社）日本建設機械化協会と連携し、情報化施工技術を取り入れた新しい建設現場の取り組みを現地研修いたします。

◆日時及び場所

		※小雨決行
【青森】	平成22年10月28日（木） 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬地内	（添付図参照）
【宮城】	平成22年11月19日（金） 宮城県大崎市古川李塚地内	（添付図参照）
【秋田①】	平成22年10月14日（木） 秋田県秋田市下浜羽川地内	（添付図参照）
【秋田②】	平成22年10月22日（金） 秋田県にかほ市金浦地内	（添付図参照）

◆開催時間

時間：13:00～15:00頃を予定

◆実施概要

参加者：東北建設業協会連合会・東北土木施工管理技士会連合会
及び（社）日本建設機械化協会の会員。
東北地方整備局 県内事務所関係職員

実施技術：締固め管理技術及びトータルステーションによる出来形管理技術等（別紙参照：実施技術は現場によって異なります）

〈発表記者會〉 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会
青森県政記者会、秋田県政記者会

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 情報化施工推進チーム
〒980-8602 仙台市青葉区二日町9番15号
電話番号 022-225-2171（代表）
チームリーダー 施工企画課長 阿曾貢貴（内線3451）
事務局 施工企画課長補佐 佐藤勝美（内線3453）

●当日の実施技術

マシンコントロール技術

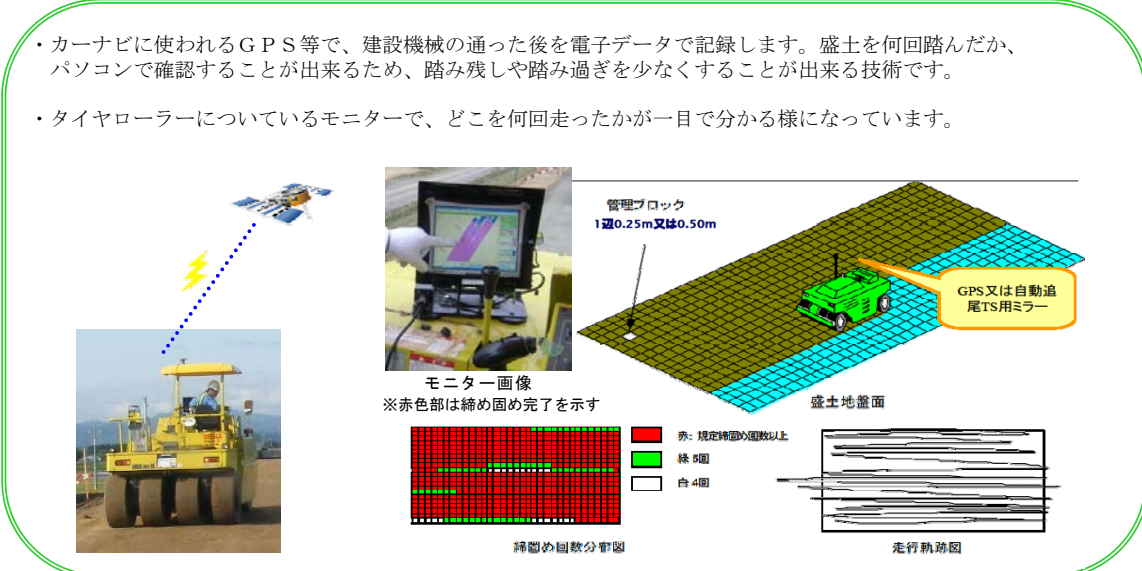


モニター画像

- ・モーターグレーダー、ブルドーザーなどの建設機械において、土を押し板の高さ・角度を設計の仕上がり位置どおりに自動的に動かして工事を行う技術です。
- ・モニターには、計画データ（位置、高さ、勾配）と現在の排土板の高さとの差（切土/盛土）が、リアルタイムで表示されます。
- ・機械の排土板（土を押し鉄板）を自動で上下に動かし、計画した高さで土や砕石をならします。
※運転は運転手が行います。

GPS等による締固め回数管理

- ・カーナビに用いられるGPS等で、建設機械の通った後を電子データで記録します。盛土を何回踏んだか、パソコンで確認することが出来るため、踏み残しや踏み過ぎを少なくすることが出来る技術です。
- ・タイヤローラーについているモニターで、どこを何回走ったかが一目で分かる様になっています。



管理ブロック
1辺0.25m又は0.50m

モニター画像
※赤色部は締め固め完了を示す

盛土地盤面

GPS又は自動追尾TS用ミラー

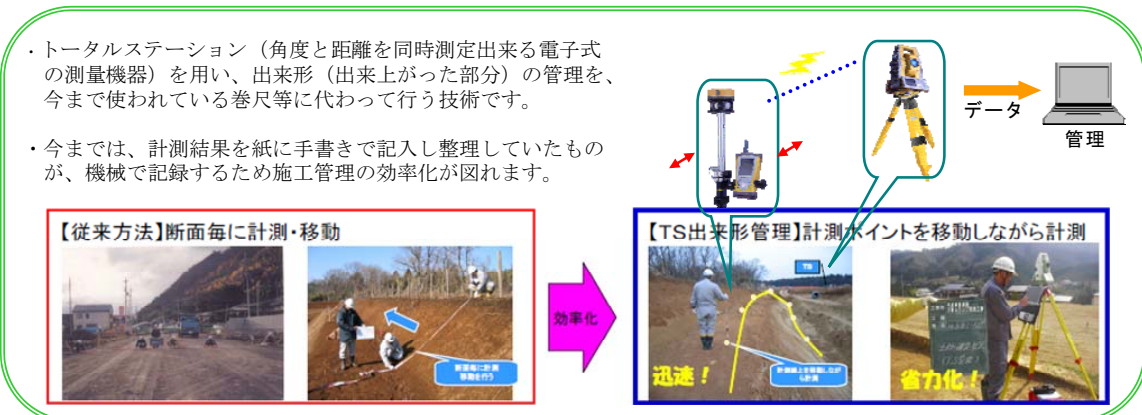
締固め回数分票図

走行軌跡図

赤: 規定締固め回数以上
緑: 5回
白: 4回

トータルステーションによる出来形管理

- ・トータルステーション（角度と距離を同時測定出来る電子式の測量機器）を用い、出来形（出来上がった部分）の管理を、今まで使われている巻尺等に代わって行う技術です。
- ・今までは、計測結果を紙に手書きで記入し整理していたものが、機械で記録するため施工管理の効率化が図れます。



データ → 管理

【従来方法】断面毎に計測・移動

【TS出来形管理】計測ポイントを移動しながら計測

迅速!

省力化!

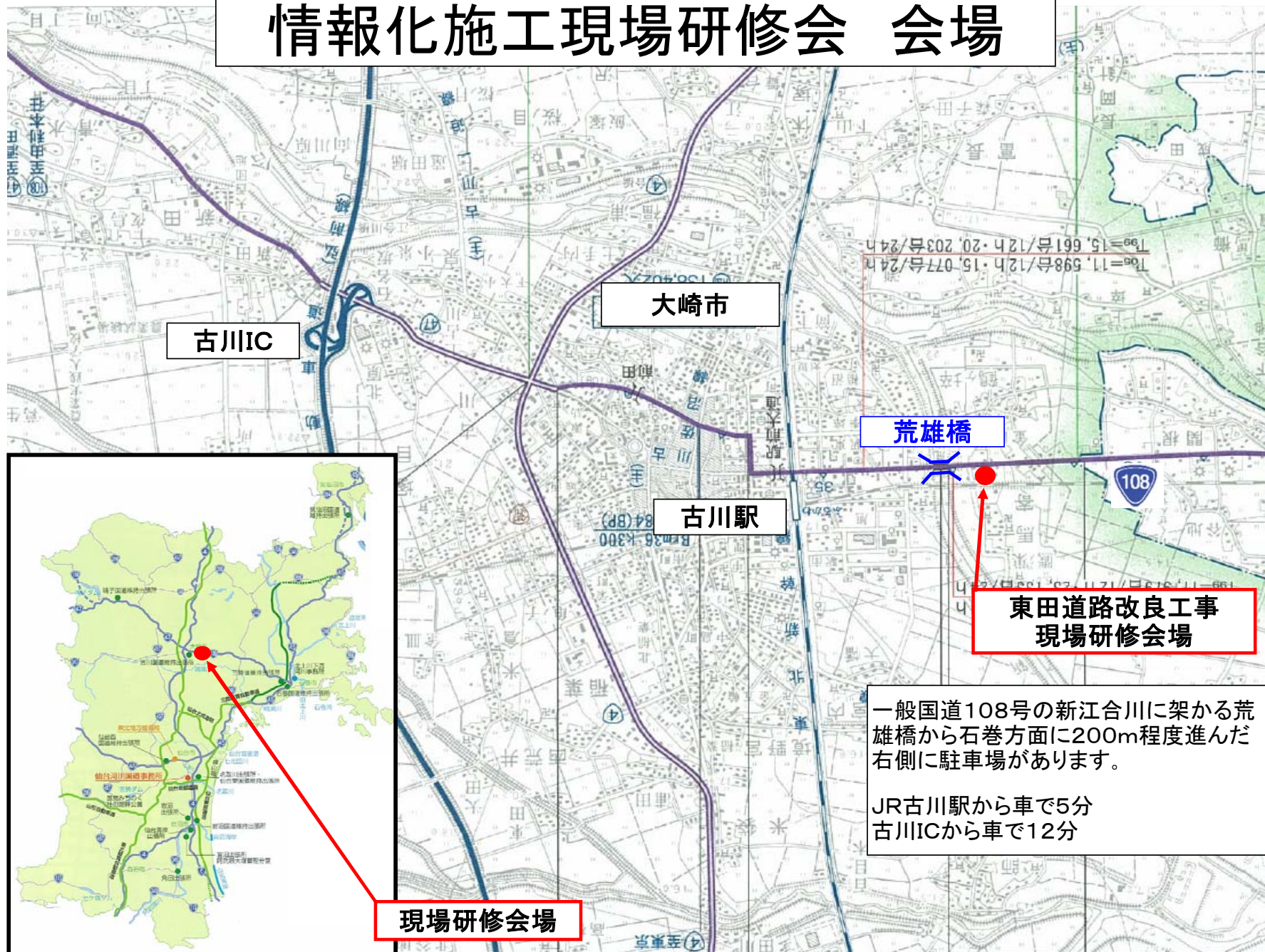
効率化

情報化施工現場研修会 会場

案内図【青森】



情報化施工現場研修会 会場



古川IC

大崎市

古川駅

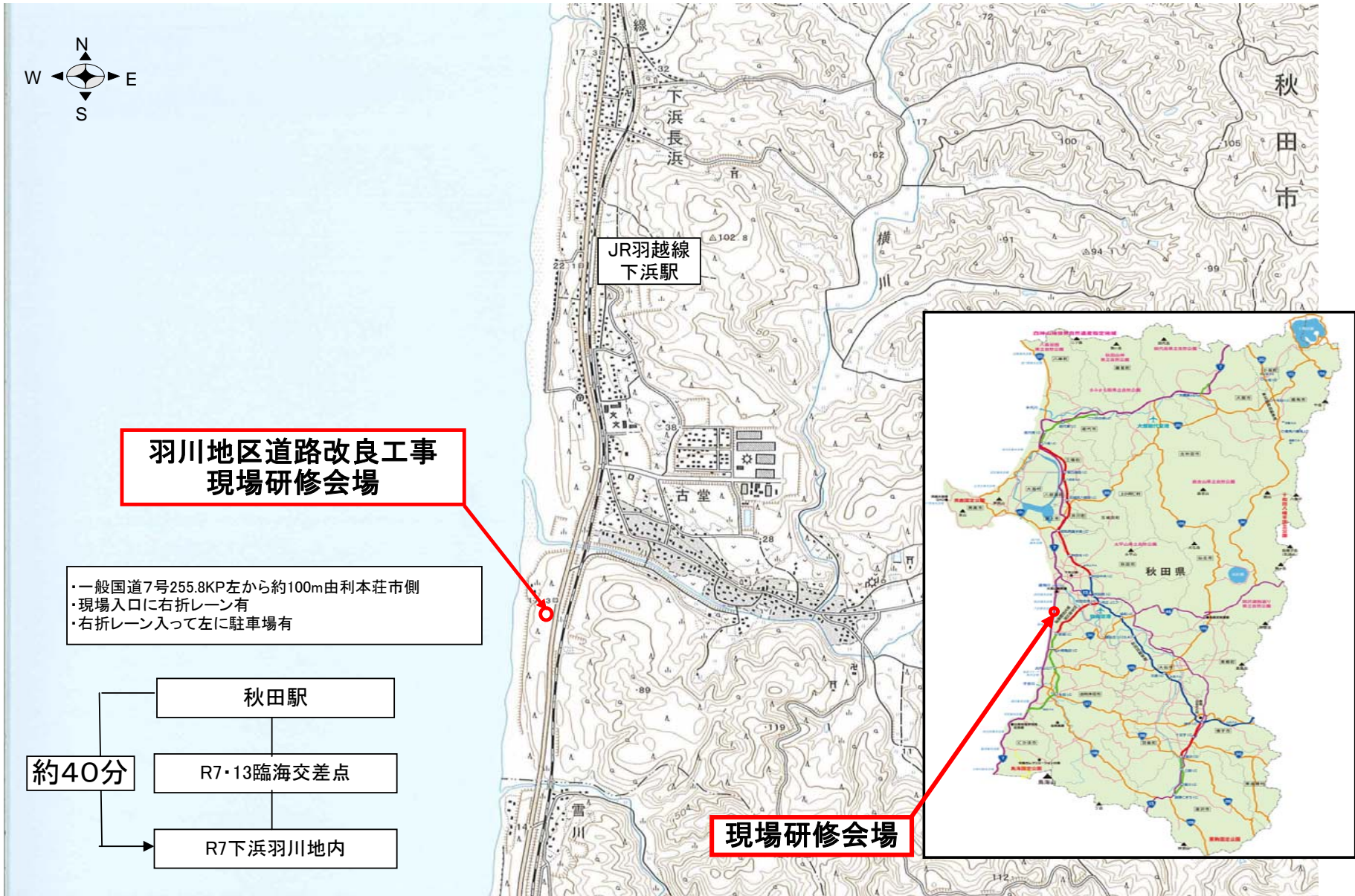
荒雄橋

東田道路改良工事
現場研修会場

一般国道108号の新江合川に架かる荒雄橋から石巻方面に200m程度進んだ右側に駐車場があります。
JR古川駅から車で5分
古川ICから車で12分

現場研修会場

情報化施工現場研修会 会場



情報化施工現場研修会 会場

